

市町村名		多良間村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和14年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	快適な観光地を形成するために、観光関連施設や周辺道路の美化・緑化を行う。 【実施箇所】 ・観光関連施設及びアクセス道路(農村公園・ふるさと海浜公園・八重山遠見台・前泊地区東屋等・三ツ瀬公園・宮古市の森公園・村営GG場・テニスコート周辺・多目的広場)						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,613	8,136	9,252	8,870	8,870
		(b) 予算現額	4,525	4,626	8,360	7,480	8,690
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,088	▲ 3,510	▲ 892	▲ 1,390	▲ 180
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	4,525	4,626	8,360	7,480	8,690	
	B. 執行済額	3,118	2,732	8,360	7,480	8,690	
	うち交付金充当額	2,494	2,185	6,688	5,984	6,952	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	68.9%	59.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。 180千円の減額は入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用出来るように取り組む。	目標	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	
		実績	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	・公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施する事で、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績	/	80%	85%	85%	/
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績	/				/
進捗状況説明	・公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調べにおいては、1月から3月迄の期間、空港、夢パティオたらま、地域振興拠点施設、港の4カ所で満足度調査を実施した結果、満足した人が85%となり、目標を達成した。						

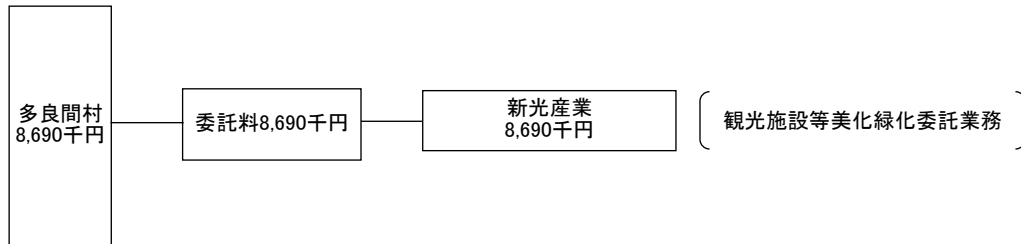
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の細箇所等の除草、枝打ち作業を定期的実施、台風後の観光関連施設及びアクセス道路周辺の片付け作業等もスムーズに行え、年間を通して美しい景観を保つことが出来た結果、目標を達成することができた。課題としていた公園8箇所に設置されているトイレ・シャワー室の修繕等も進めることができた。今年度も引き続き行っていく。	・目標としている満足度85%以上の達成率の維持を目指す。年間を通して観光関連施設や周辺道路の美化緑化を図り、満足度調べで検証していく。 ・3月～夏期にかけ雑草が繁茂し害虫の発生等も心配されるため除去作業をより丁寧に行う。周辺の木の枝打ち作業も繁茂期は毎回行う。 ・緑化の部分で植栽計画をたて、より美しい景観を構築していく。

**今後の取り組み方針**

・各公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来るよう取り組む。  
・村全体が美しい景観が保てるよう他部署とも連携して検証していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,690	8,690	6,952	1,738	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額なく、適正な予算規模と考えられる。 ○費目・用途については、精算において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

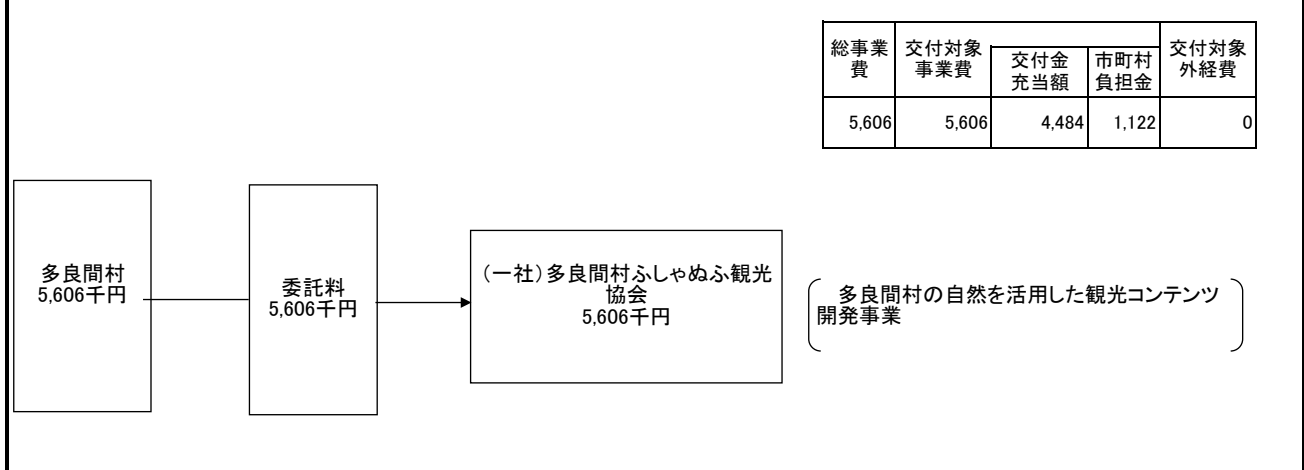
市町村名		多良間村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-イ	
	担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和5年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	SDGsに適應する観光ブランド力の強化 Ⅲ-1-(1)
事業内容	一人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する						
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,648	7,303	0	0	0
		(b) 予算現額	11,278	5,606	0	0	0
		(c) 増減額(b-a)	▲2,370	▲1,697	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	11,278	5,606	0	0	0
	B. 執行済額		11,278	5,606	0	0	0
	うち交付金充当額		9,022	4,484	0	0	0
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業費のうちモニターや視察の旅費、報酬費、使用費などが当初見積りよりも▲1,697千円下回ったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光コンテンツ開発、島の自然を生かした観光コンテンツを2つ創出	目標	( 2 )	( 2 )			
		実績	3	2			
	モニターツアーの実施、開発したコンテンツを実装するためモニター2回以上実施 ガイド・コーディネーター育成	目標	( 1 )	( 2 )			
		実績	1	3			
	LNT(Leave No Trace)普及啓発活動 (※動画作成・体験会の実施) 観光PR動画作成(スツウブナカ・八月踊り・ピндаアース大会・一周マラソン大会・村民運動会島・ダイビング等)	目標	( 0 )	( 1 )			
		実績		1			
	アウトドア先進地視察 (※長野県栄村・新潟県スノーピークキャンプ場視察)	目標	( 0 )	( 1 )			
		実績		1			
達成状況説明	ガイドと共に島の自然に触れながら島に自生する野草を採集して食べる「薬草採集・調理体験プログラム」、インストラクターのサポートのもとサンゴ礁の海と砂浜を満喫できる「シュノーケリング・とうぶりゆんたくプログラム」を開発した。また島外から学生・企業を招致してモニターテストを行い、開発したコンテンツのブラッシュアップを行った。LNT普及啓発活動では観光客向けに多良間島で出来る自然環境に配慮したアウトドアの楽しみ方を知るための動画を作成した。村民向けにはLNTの概要に触れるための講習会を開催し、理念の「原則3 ゴミの適切な処理」を例に上げて実際に多良間島の砂浜に落ちているゴミが自然分解されるまでに掛かる年数や、現在の砂浜様子などについて説明した。アウトドア先進地視察ではアウトドア用品大手のスノーピークの協力のもと、ヘッドクォーターズ キャンプフィールドで手ぶらキャンプについての講習や社内見学・案内を受けて機材の管理・扱いやレンタルビジネスの問題点などノウハウを学んだ。また長野県栄村ではLNTを推進する信州アウトドアプロジェクトによる苗場山麓ジオパークを元にした自然体験プログラムを受け、環境保護活動や村民と一緒に進める観光体験・観光事業等について学んだ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光コンテンツ開発、島の自然を生かした観光コンテンツを2つ創出	目標	( 2 )	( 2 )	( )	( )	
		実績	2	2			
	モニターツアーの実施、開発したコンテンツを実装するためモニター2回以上実施	目標	( 1 )	( 2 )	( )	( )	
		実績	1	3			
	開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者 240名	目標	( )	( )	( )	( 240名 )	
実績							

進 説 明 状 況	「薬草採集・調理体験プログラム」、「シュノーケリング・とらふりゆんたくプログラム」の2つの観光コンテンツを開発し、学生・企業を招致してモニターを実施。 LNT(Leave No Trace)普及啓発活動として観光客向け動画を作成。村民向け講習会を実施。 アウトドア先進地視察にて新潟県スノーピークキャンプ場視察、長野県栄村での野外プログラム体験を実施。
-----------------------	--

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>コンテンツ開発では野草の採集・発見方法や調理する方法・調理器具・シュノーケル機材の扱いや海での注意事項など、お客様へ指導・レクチャーする内容についてどうすれば分かりやすく、簡単に出来るかが課題となった。また野草採集については島の自然環境にダメージを与えないよう分散して採集する必要があり、今後も野草の自生状況について注意していかねばならない。</p> <p>LNT普及啓発活動では、前年度で村民から12人のLNTトレーナーが誕生したが、村内での認知度がまだまだ低く今後の継続的な推進・PRが必要である。</p> <p>先進地視察では大きな倉庫や私有地を持つスノーピークだからこそ出来るレンタル用品運用や顧客対応があり、多良間島でのレンタル運用の見直しに直接活用できないノウハウも多くあった。栄村野外プログラムでは自然を活用した観光体験と自然保護の理念については学びが多かったが、多良間島との気候の違いもあり、多良間独自の特別な田舎体験・自然体験を見つめ直し、「島の常識」を体験コンテンツとして活用していくための魅力再発見が必要であると感じた。</p> <p>モニターの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発中のコンテンツをモニターに体験していただくことで、課題を洗い出しニーズにマッチしたコンテンツしていくことを目的に「シュノーケリング&amp;トウブリゆんたくプログラム」実施した。</li> <li>大学の教育学部の教授・学生の協力のもと、教育実習者としての視点からアウトドア体験を通して多良間村での若者向けコンテンツ造成・発展について考えてもらい、プレゼンを発表した。</li> <li>進化型組織実現に向け自主性、セルフマネジメント、全体性を意識して研修活動に取り組む(株)TATIに協力していただき、沖縄離島という特殊な地域県境で若手社員の研修活動の優位性について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野草を摂取については、島の自然環境にダメージを与えないよ分散することや根こそぎ接種しないことの注意が重要であると更に、食べられる野菜の種類と調理方法、自生状況の研究を重ねる必要がある。</li> <li>LNTのダメージを残さず自然を楽しむための7原則をトレーナーが理解し、実践できるか今後の検討課題と思われる。</li> <li>多良間独自の特別な田舎体験・自然体験を見つめ直し、「島の常識」を体験コンテンツとして活用していくための魅力再発見が必要であり、いかにして観光客誘致</li> <li>離島なのでシュノーケリング機材の確保が難しい、シュノーケリング経験・機材の準備や扱い、緊急時対応について知識確認とレクチャーをおこなう必要がある。</li> <li>事前にインターネットで得られる情報が少なく、多良間島を知るきっかけや取掛かりが少ないことが難点である。</li> <li>訪問意欲のある方へ効果的な情報発信、提供を行っていく必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光PR動画1本 スツブナカ・八月踊り・一周マラソン大会・ビンダアース大会・一周マラソン大会・村民運動会・ダイビング等本村の各行事を作成する。</li> <li>ガイド・コーディネーターを育成 計10名 黒糖、豆腐、ばなぱんびん・ちよま糸(手織り)体験、シュノーケリング&amp;ゆんたくモニター、三味線教室、ビンダ(山羊)決闘等</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ・ 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ・ 費目・ 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、観光事業者や住民との連携においても円滑に進めることができること、コンテンツ開発後の事業継続性、観光事業者や住民間との連携を円滑に進めることができる村内唯一の事業者のため妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算現額について、事業内容に見合った執行となり、適正な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は総事業費の1.6割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	多良間村
------	------

**令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和6年度	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

**事業内容**  
 生産農家が経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託       補助       負担       その他( )

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	8,000	12,000	8,000	8,000	8,000
	(b) 予算現額	8,000	12,000	8,000	8,000	8,000
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	8,000	12,000	8,000	8,000	8,000
	B. 執行済額	7814	11939	7,929	7,904	1,200
	うち交付金充当額	6251	9551	6,342	6,323	960
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	97.7%	99.5%	99.1%	98.8%	15.0%
予算の状況の説明	今年度の導入は、20頭予定のうち3頭が導入されており、不用額6,800千円となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	目標	( 30頭 )	( 20頭 )	( 20頭 )
		実績	30頭	20頭	20頭	3頭
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
達成状況説明	今年度の導入は、20頭予定の3頭導入となっており、価格面や希望する優良牛をセリ落とせず目標を未達成。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合120.0%	目標	( )	( )	( 115.3% )	( 122.0% )	( )
			実績		113.3%	113.3%	122.5%	
		【参考指標】 優良繁殖雌牛導入の支援完了頭数:20頭	目標	( )	( 支援(20頭)の完了 )	( 支援(20頭)の完了 )	( 支援(20頭)の完了 )	( )
		実績		支援(20頭)の完了	支援(20頭)の完了	支援(3頭)の完了		
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は122.5%となり、目標を上回った。							

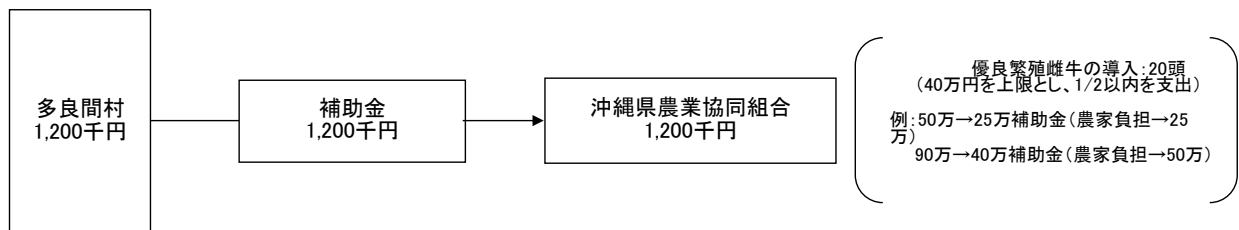
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	希望する優良牛をセリ落とすことが上手くいかず目標頭数を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症によるセリ価格への影響については回復傾向にあったが、国際情勢の変化等により価格の下落が生じている。キロ単価は低く、価格差への影響を及ぼしているものと考えられる。また、県内平均子牛価格を下回っている。	早い段階より優良牛の希望を確認し対応していく必要がある。新型コロナウイルスや国際情勢の変化等の影響によるセリ価格の下落においても価格差は現れていることから生産農家への支援を継続していく必要がある。また、系統の情報共有等を行い、優良種の種付けを進めていく必要がある。

**今後の取り組み方針**

早い段階で優良牛の希望を確認し、セリ落とす事が厳しければ、別の系統に変更するなどの対応をする。和牛改良組合等の関係機関と連携し優良種雄牛の種付けの推奨等を行っていく。また、畜産農家高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続ける事で担い手や新規就農者の確保を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,836	1,200	960	240	2,636



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断 ○飼養頭数の3%で年間自家保留頭数の1/3程度なので規模は適正 ○負担割合は1/2以内としており事業内容から判断しても妥当と考える ○費目・用途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部署名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を招く子ども達の能力向上を図る。島外で実施される各種大会へ児童生徒派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	3,071	5,455	3,632	3,435	3,634
		(b) 予算現額	5,603	3,857	1,805	1,592	3,064
		(c) 増減額(b-a)	2,532	▲ 1,598	▲ 1,827	▲ 1,843	▲ 570
		(d) 繰越額					
	<b>A. 計(b+d)</b>		5,603	3,857	1,805	1,592	3,064
		<b>B. 執行済額</b>	5,571	3,773	953	1,220	2,720
	うち交付金充当額	4,457	3,018	762	976	2,176	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.4%	97.8%	52.8%	76.6%	88.8%
予算の状況の説明	当初予算で3,634千円を見込んでいたが、中学校の大会の日帰りや小・中とも県大会出場が少なかったため当初計画どおりの執行ができず最終的には、344千円の不用額となった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒の島外派遣に係る渡航支援	目標	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	
		実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施	
	達成状況説明	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
大会21回、派遣延人数(教諭含む)200人を派遣。今年度は、新型コロナウイルス感染症の緩和により多くの児童生徒の派遣ができ、交通費及び宿泊費の助成が実施できた。							
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
	実績		55%	83%	96%		
	【参考指標】	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	派遣された児童生徒へのアンケートで大会に参加して意識の向上につながったとの回答が96%となり、成果目標を達成することができた。						

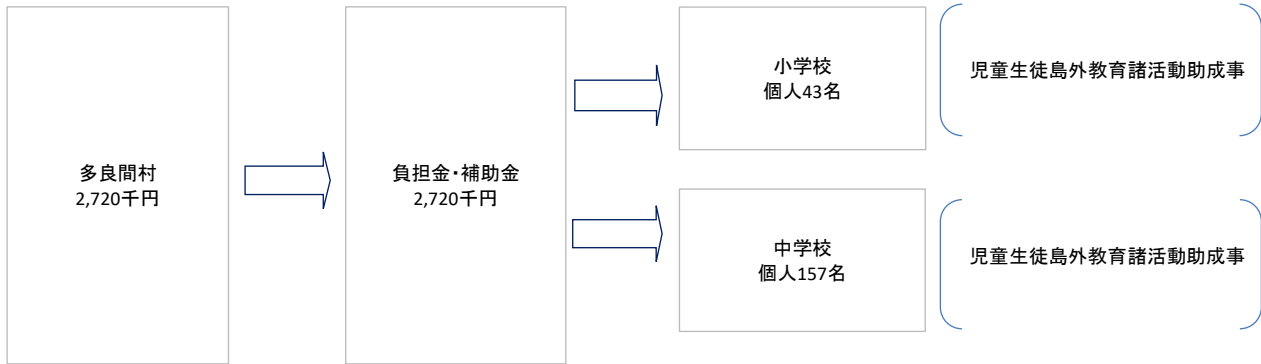
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新型コロナウイルス感染症の緩和により多くの大会に派遣することで、児童生徒の意識向上にはつながっている。また、一村一校の小規模校で少人数の環境にいる児童生徒にとっては、「大会」が視野を広げ意識向上を高める機会でもあり、能力を開花させる場所でもあり、精神鍛錬につながる場でもあるので、島外派遣教育は必要である。地区大会・県大会で競う選手との違いや課題を見つけ今後も各種大会に派遣し、児童生徒の意識向上を図るために継続支援が必要である。	今後、大会開催が増える見込みをしており、複数の児童生徒を持つ保護者にとって経済負担は大きいのが、派遣事業を推進する上で児童生徒の意識向上と保護者への負担軽減ができています。教職員は業務多忙の中、計画的に一連の業務作業を行っており、学校との連携を図りながら速やかに事務処理が進められるよう務める必要がある。

**今後の取り組み方針**

児童生徒にとっては、大会が意識向上を高め、精神鍛錬にもつながる機会である。多良間村の教育環境は十分とはいええず、沖縄本島や宮古島の格差を近づけるために今後も各種大会へ派遣する児童生徒へ支援が必要である。保護者の経済負担にもつながっているため今後も助成していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,720	2,720	2,176	544	



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小体連、中体連、引率者の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。</li> <li>・予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。</li> <li>・受益負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。</li> <li>・費目・用途については、精算段階で、検査実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		学力向上推進ALT活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
	担当部署名	多良間村教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成27年度～令和5年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
事業内容		国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	788	788	788	788	788
		(b) 予算現額	788	788	788	788	788
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		788	788	788	788	788
	B. 執行済額		787	744	768	721	710
	うち交付金充当額		629	595	614	577	568
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.9%	94.4%	97.5%	91.5%	90.1%
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ALT(外国語指導助手)招聘年間20回	目標	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	
		実績	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
実績							
達成状況説明	外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘し活用することにより、外国語活動や英語の時間を通して英語に対する興味・関心を喚起するとともに、異文化に対する理解を深め、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力向上に繋げることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	目標	(                    )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(                    )
		実績		86%	82%	88%	
	②中学校 英検4級の保有割合:40%以上	目標	(                    )	( 50% )	( 35% )	( 40% )	(                    )
		実績		41%	47%	50%	
進捗状況説明	小学5・6年生を対象にアンケート調査を行った結果、88%が「英語に対する興味・関心が高まった」と回答し、目標を達成した。中学校生徒の英検4級の保有割合が50%となり、目標を達成した。						

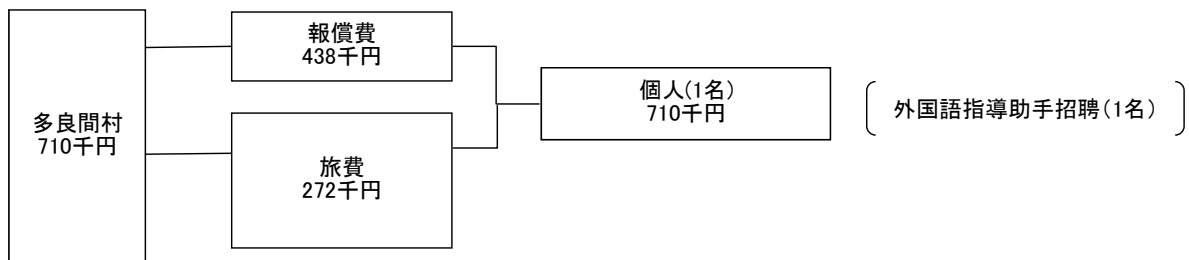
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に対する興味・関心及びコミュニケーション能力に格差がみられる。</li> <li>児童生徒間の英語力に二極化があり、外国語活動や英語の授業において難しいと感じる児童生徒が未だにあり、それらに対応する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に対する興味・関心を高めてもらうため、これまでの事業内容を振り返り、授業内容の工夫・改善やALTの資質向上を図り、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと・話すことを中心とした外国語の基礎・基本を身に付けさせ、格差解消を図る。</li> <li>小学校及び中学校の英語の授業以外でも行われている「グループ学習」・「ペア学習」を取り入れ、習熟度別で実践することで、小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶ指導を充実させ、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業カリキュラムを推し進め、二極化の解消を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・外国語指導助手(ALT)を活用して国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。  
 ・外国語指導助手(ALT)の学校現場でのより効果的な活用について検討を進め、外国語指導助手(ALT)の資質向上を図る。  
 ・小学校及び中学校において、クラスを習熟度別にグループ分けし、その中で「グループ学習」・「ペア学習」を推進することで、児童生徒に『分かる、できる喜び』を体感してもらうとともに、資質能力の育成を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
710	710	568	142	0



資金の流 れ、 点 検 評 価 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であると考え。 ○不用額はなく、適正な規模と考える。 ○費目・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

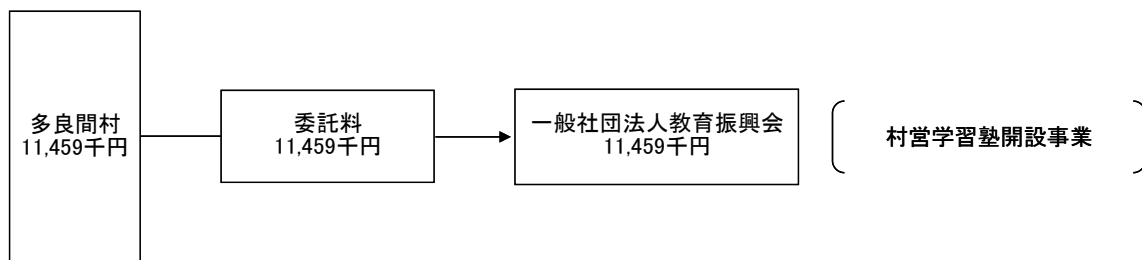
市町村名		多良間村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③		村営学習塾開設事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
	担当部課名		多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容		学力向上、高校受験対策の一環として児童生徒の学習をきめ細かに支援するため、村営の学習塾を開設する。その中で、学習支援員を配置することにより、多良間村に在学する小学3年生から中学3年生を対象に国語・算数(数学)・英語を中心とした学校外学習支援を実施する。						
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
		(b) 予算現額	15,100	14,879	12,526	14,795	14,300	14,300
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 221	▲ 2,574	▲ 305	▲ 800	▲ 800
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	15,100	14,879	12,526	14,795	14,300	14,300
	B. 執行済額		15,012	14,879	9,261	7,792	11,459	
	うち交付金充当額		12,009	11,902	7,409	6,233	9,167	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.4%	100.0%	73.9%	52.7%	80.1%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響で講師1名が来島出来ない状態となる時期もあったが、常駐の講師1名とオンライン授業で対応した。そのため、来島出来ない講師1名分の渡航費及び宿泊費等が不用となった。また、入札残等もあり執行率は80.1%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	村営学習塾の開設		目標 ( 開 設 )	( 開 設 )	( 開 設 )	( 開 設 )		
			実績	開 設	開 設	開 設		
			目標 (      )	(      )	(      )	(      )		
		実績						
達成状況説明		臨機応変に対応できるように社会情勢に合わせた方法(オンライン)での支援も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設して、効果的に学習できる環境を整えるとともに、学校外学習支援を強化すること、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることで児童生徒の学力向上と他地域との格差縮小に繋がった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差・小学校(国語・算数)ー4.5ポイント以上・中学校(国語・数学・英語)ー5.0ポイント以上		目標 (      )	( 小学校ー5P以上/中学校ー6P以上 )	( 小学校ー4.5P以上/中学校ー5.0P以上 )	( 小学校ー4.5P以上/中学校ー5.0P以上 )	(      )	
			実績	小学校ー4.8P/中学校ー2.2P	小学校ー3.1P/中学校ー5.4P	小学校ー4.1P/中学校ー1.6P		
	(参考指標) 高等学校入学者選抜学力検査全員合格		目標 (      )	( 受験生全員合格 )	( 受験生全員合格 )	( 受験生全員合格 )	(      )	
			実績	受験生全員合格	受験生全員合格	受験生全員合格		
進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校は、( 目標:ー4.5P以上 実績:ー4.1P )で目標を達成した。中学校は、( 目標:ー5.0P以上 実績:ー1.6P )となり、こちらも目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や学校行事の関係で、出席率が悪かったため改善策を検討する必要がある。</li> <li>各個人の学力にばらつきがあるため、均一的な授業だけでなく、学力に応じた授業カリキュラムを検討し、全体の底上げを図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>村営学習塾の開講日程について、学校側に理解・考慮してもらうことで、学校行事の時間調整や部活動の時間短縮の調整が進み、出席率アップのための改善が図られている。</li> <li>学力の着実な定着を図るとともに、基礎学力・基礎的基本的事項の修得(特に国語・算数・数学・英語)定着・向上に繋げるため習熟度別のクラス編制を行い、全ての児童生徒の個々の学習ニーズ及び学力に応じた教科書を使用することで、学力向上推進を図る。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>村営学習塾の出席率向上に向けて、毎週火・水・木に行われる塾の授業を優先してもらうよう、学校側に働きかける。</li> <li>塾におけるそれぞれの学力に応じた授業カリキュラムの推進を図ることで、学校外教育の場での学習支援を通して、高等学校入学選抜学力検査全員合格、沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差の格差縮小を図る。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,459	11,459	9,167	2,292	0



資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響で不用額が多く、執行率も低くなってしまったが、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教材費は受益者に負担してもらっており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

市町村名 多良間村

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-4, 多良間村就業意識向上支援事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第4章-5-(4)-ア), 担当部課名 (多良間村教育委員会 教育課), 事業実施(予定)年度 (平成30年度~令和5年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (Ⅲ-3-(1)), 多様な職業能力の育成・開発

事業内容 小学6年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を実施する。
中学1年生を対象に、多良間村、宮古島市を中心に「中学生多良間村課題解決プログラム」を実施する。
中学2年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「職場体験(体験型キャリア教育)」を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他( )

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度, R4年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明 (新型コロナウイルスの影響で一部オンライン方式での対応となったが、想定内の予算執行であった。なお、392千円の不用額は入札残である。)

Table with 5 columns: R4活動目標(指標), 達成状況 (R1年度, R2年度, R3年度, R4年度). Rows include 沖縄本島へ小学6年生(14名)、引率者(5名), 宮古島市へ中学1年生(13名)、引率者(5名), 沖縄本島へ中学2年生(15名)、引率者(5名), and 達成状況説明 (小学6年生(14名)、引率者(5名)、沖縄本島での就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。)

Table with 7 columns: R4成果目標(指標), 基準値(年度), R2年度, R3年度, R4年度, 目標値(年度). Rows include キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 and 進捗状況説明 (キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いた児童生徒は、89%(小学6年生82%、中学1年生92%、中学2年生93%)となり、目標を達成した。)

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内では、企業や職種が少なく、それにより興味・関心及び働くことへの意識が希薄である。</li> <li>・地域に対する興味・関心が薄く、多良間村の現状と課題もわからない児童生徒がいるという現実がある。</li> <li>・自分の将来像を明確に設計せず、島を旅立つ(15の旅立ち)生徒がいるという現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生には、数多くの職種に興味・関心を持たせ、これまで以上に働くことへの意識付けを行う必要がある。</li> <li>・中学1年生には、地域への愛着と誇りを持ってもらい、多良間村の現状と課題を知る中で、中学生なりに分析することにより、地域について興味・関心を深めてもらうためのキャリア教育に力を入れる必要がある。</li> <li>・中学2年生には、村内にない業種や職種にふれ、村内の業種や職種との違いや共通項に気づき、村内外の産業や職業への理解を深めてもらい、将来の夢、生き方、進路等の選択に生かしてもらうための機会を増やす必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・島外で様々な企業、職種があることを理解し、職業観及び勤労観の喜びを深めるために、幅広く取り組む必要があり、「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」、「中学生多良間村課題解決プログラム」、「職場体験(体験型キャリア教育)」を通して、社会人としての規律・礼儀・言葉づかいの大切さを知る機会、児童生徒に将来の生き方について考えさせ、進路の選択に生かせる機会とし、情操教育に繋げ、将来を担う児童生徒の育成に努める。

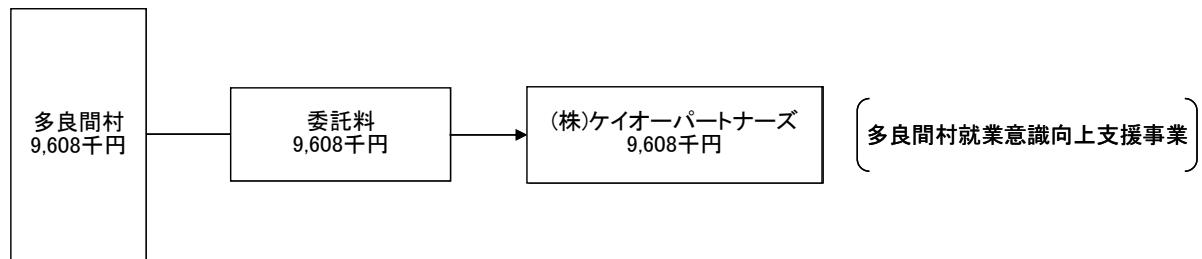
・小学6年生対象: 沖縄本島内(那覇市及び近隣市町村)で村にない業種や職業、また、村出身者が勤めるまたは運営する企業での「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を行う。

・中学1年生対象: 多良間村の人口、産業、文化歴史など様々な現状や課題などを中学生なりに分析し、どのようにして発展や解決させていくか考える。村内のフィールドワークや村内外の事業所などのインタビュー、また、他地域の事例から比較することを目的に、宮古島の産業施設や産業まつりの視察などを行い、最後には報告会を開催し、課題解決の方法などを報告及び提案書としてまとめる「プロジェクトT(多良間村課題発見・解決型プログラム)」を行う。

・中学2年生対象: 3泊4日又は2泊3日の日程で那覇市内に滞在し、沖縄本島内(那覇市及び近隣市町村)で村にない業種や職業、また、村出身者が勤めるまたは運営する企業での「職場体験(体験型キャリア教育)」を1～2日間行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,608	9,608	7,686	1,922	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

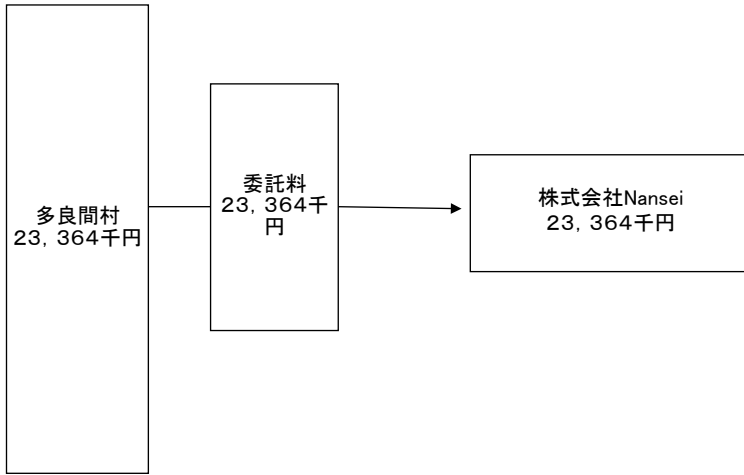
市町村名		多良間村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	多良間村自然文化継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部署名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成30年度～ 令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	多良間村の自然文化継承の保存のため、郷土資料の整理活用業務を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	19,589	16,967	33,928	33,343	23,500
		(b) 予算現額	19,532	16,351	33,268	33,097	23,364
		(c) 増減額(b-a)	▲ 57	▲ 616	▲ 660	▲ 246	▲ 136
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	19,532	16,351	33,268	33,097	23,364
	執行 の 状 況	B. 執行済額	19,532	16,351	33,267	33,097	23,364
		うち交付金充当額	15,625	13,080	26,613	26,477	18,691
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、136千円の減額は入札残である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	古文書の現代語訳本・解説版の出版、アーカイブツールの構築	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成 状 況 説 明	郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催、現代語訳本・解説版の出版、年中行事のアーカイブツールの構築し目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 ( 年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 ( 年度)
	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数177人以上	目標	(      )	( 177人以上 )	( 177人以上 )	( 177人以上 )	(      )
		実績			133人	137人	169人
	②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数652人以上	目標	(      )	( 652人以上 )	( 652人以上 )	( 652人以上 )	(      )
		実績			240人	321人	743人
	③シンポジウム来場者数50人以上	目標	(      )	( 50人以上 )	( 50人以上 )	( 50人以上 )	(      )
実績				41人	61人	90人	
進 捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと民俗学習館利用者は、村民利用者数・観光客利用者数とも目標を達成した。</li> <li>シンポジウム来場者は、開催をハイブリット形式を採用し、対面とオンラインで開催、アトラクションも児童の参加で目標を大きく達成した。</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(村内の利用者数・観光客利用者数) ・新型コロナウイルス感染症禍で減少した旅行需要の回復や、村内の対策緩和、古文書の修復・翻刻・現代語訳の完成、展示会、アーカイブツーリズムの普及により、受入態勢が整ったことが目標値達成の要因と考えられる。	(村内の利用者数・観光客利用者数) ・目標実現に向け、引き続き古文書の修復・翻刻・現代語訳・電子化を行い、手に取りみてもらう為の複製本の制作、古文書から派生する島の年中行事を調査し地域学習に繋げ、アーカイブツーリズムの内容補充とデジタルアーカイブの整備と内容を充実させ、情報発信を強化することで利用者の増に繋げる。
	(シンポジウム来場者数) ・開催方法を「来場型」・「オンライン型」の同時ハイブリット開催が功を奏した。また、アトラクションを村内児童の地域学習と連携することで若い親世代の参加が増え目標を大きく上った。	(シンポジウム来場者数) ・今後も開催方法をハイブリット型にし、村内学校と連携し事業の理解と広報を行い、ふるさと民俗学習館の利用促進を図る

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料の完成した現代語訳・解説版活用し、企画展やシンポジウムの開催、地元の歴史を知る学習資料として貸出教材としての活用を促進する。</li> <li>・アーカイブツーリズムの内容充実を図るため、掲載写真を360度画像(パノラマ写真)にし臨場感のある内容にする。古写真や観光関連の挿入も増やす。</li> <li>・デジタルアーカイブの掲載ページを観光・文化関連のページにリンク依頼を行い情報発信を行う。</li> <li>・ホームページでのWEB公開を行い多良間の歴史文化に興味を持った方々が多く訪れる観光スポット、地元の歴史を知る学習資料として活用する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
23,364	23,364	18,691	4,673	



- 【自然文化継承事業委託】
- ① 所蔵資料の修復・電子化・複製本作成
  - ② 翻刻・現代語訳・解説版制作
  - ③ アーカイブツーリズム・マシクタッチの追加掲載
  - ④ 扁額の複製・保存処理
  - ⑤ 年中行事の調査報告・動画撮影
  - ⑥ WEB公開システム構築

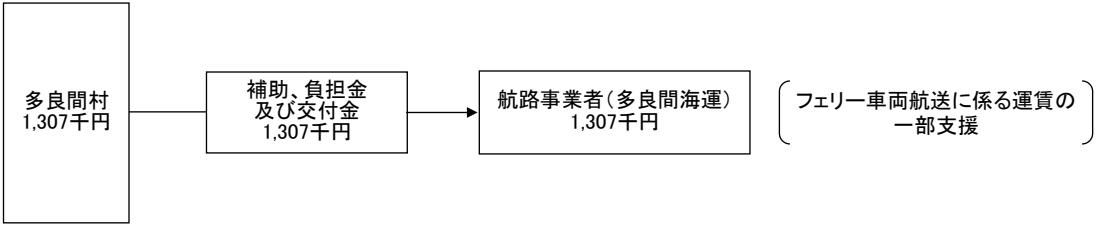
資金の流し、点検、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した

市町村名	多良間村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化 Ⅲ-9-(2)	
事業内容	離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施   □委託   ■補助   □負担   □その他(   )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,574	1,574	1,715	1,157	1,374
		(b) 予算現額	1,178	1,112	1,715	1,157	1,474
		(c) 増減額(b-a)	▲ 396	▲ 462	0	0	100
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)	1,178	1,112	1,715	1,157	1,474	
	B. 執行済額	965	916	1,144	1,157	1,307	
	うち交付金充当額	772	733	915	926	1,045	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	81.9%	82.4%	66.7%	100.0%	88.7%	
予算の状況の説明	令和4年度予算について、当初計画以上の利用者になることが予想され、令和4年12月に100千円の増額を行った。しかし、見込んだ以上に利用者数は伸びなかったため、167千円の不要額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助	目標	( 軽減 )	( 補助 )	( 補助 )	( 補助 )	
		実績	軽減	補助	補助	補助	
	目標	(            )	(            )	(            )	(            )		
	実績						
達成状況説明	年間を通じて運賃補助を実施し、住民の宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担を軽減できた。自動車航送に係る運賃補助の実施台数は前年度91台、今年度は96台であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(            )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(            )
		実績		96.55%	98.66%	95.23%	
【参考指標】	目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )	
	実績						
進捗状況説明	利用者へのアンケートの結果、95.23%の島民が宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答し、成果目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	前年度に比べて利用台数は91台から96台に増加した。新型コロナウイルス感染症対策の行動制限規制緩和により利用者が徐々に増加傾向にある。利用者の増加に対応できる予算の確保を行う。	利用状況の確認をこまめに行い、予算が不足することがないように取り組む。また、引き続き連絡を密にし、問題点、改善点の把握に努める必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
毎月の概算払いにおいて、月ごとの利用者数を把握するとともに、航路事業者と連絡をこまめに取り、利用者の状況や問題点、改善点を把握し対策を講じることで、更なる本事業の効果向上を図る。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,307	1,307	1,045	262	0



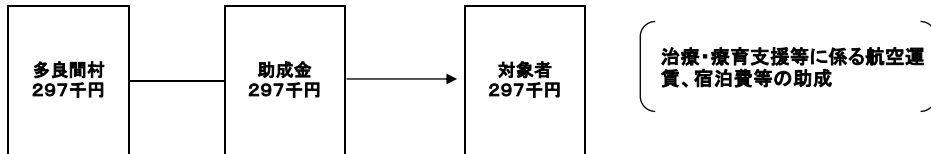
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績の状況に応じ年度内で事業費の増減を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名	多良間村						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	5-①	多良間村心身障害児等渡航費助成事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ウ 公平で良質な医療・福祉サービスの確保			
担当部署名	住民福祉課	事業実施(予定)年度	令和3~5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(2)		
事業内容	本村に居住する心身障害児等が当該治療・療育支援等のために島外の医療機関等に受診する際の航空運賃及び宿泊費を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	年度	年度	年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	880	1,040		0	0
		(b) 予算現額	880	1,040		0	0
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	880	1,040	0	0	0
		B. 執行済額	311	297			
		うち交付金充当額	249	237			
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	35.3%	28.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	コロナ感染拡大防止に伴い、手術や診察が中止や延期になり執行率が低下した。また、年度途中に対象者の増加もあったが受診する回数が見込より減少した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	年度	年度	
	対象者の申請に対し助成金を交付する	目標	( 実施 )	( 実施 )	( )	( )	
		実績	実施	実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	本村では対応できない心身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費または宿泊費を助成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R4年度	年度	年度	目標値(年度)
	渡航費支援が必要な児童への支援率100%	目標	( 100% )	( 100% )			( )
		実績	100%	100%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染拡大のため手術や診察が延期となり、支援対象者の渡航自体が当初想定より大幅に減少したが、渡航した対象者に付いては支援ができ、成果目標は達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>コロナ感染拡大防止に伴い、手術や受診が中止や延期になり支援数は当初想定を下回ったので、今後増加となる取り組みが必要である。</p>	<p>目標については達成しているが、支援の実績数を上げるため、対象者に周知と支援方法を検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後も継続して、実績が達成できるように移動費の経済的負担を支援していく。          ・対象者と通院先の病院と情報共有して渡航または宿泊費を支援していく必要がある。</p>		

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
297	297	237	60	



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は要綱にもとづき交付決定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は低いですが、受診頻度が予測できないため予算規模は適正だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は実費の1割を負担しており、また助成額には単年度で上限額を設けており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。